

綱領

1. われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて、われわれの権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. われわれは、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによつて、その人道的任務の達成に寄与する。

発行所  
日本赤十字新労働組合連合会  
(略称「日赤新労」)  
東京都港区西新橋3の14の5  
Tel・東京434-7080  
発行責任者  
吉原三郎

# 日赤新労ニュース

## 完全制覇をめざし

### 第五回定期大会おわる

五月九日・十日 熱海市八丁園  
委員長に小崎氏(山田日赤)カンパツク



熱海市八丁園大会会場

日赤新労第五回定期大会は、新緑の風薫る伊豆山上八丁園において、役員、代議員、オブザーバー及び招待者等百余名出席、和やかな中にも、何んとも溢れる熱気を感じさせるような雰囲気の中に、次の日程により開催された。

- 一、開会
- 二、資格審査及び成立確認
- 三、議長団選出、書記任命
- 四、大会役員選出
- 五、執行委員長挨拶
- 六、来賓挨拶
- 七、祝辞、祝電披露
- 八、議事

#### 〔報告〕

昭和四十年年度一般経過報告  
組織報告  
会計報告  
会計監査報告

#### 〔審議〕

昭和四十一年度運動方針  
予算  
夏期手当  
その他

#### 第一日目

午前十時、山田(名)一 議事運営委員長から、力強い開会の宣言があり、次の出席者をもつて大会成立を確認した。

- (本部役員及び会計監査)  
吉原・川田・松下・前川・北村・横山・佐藤・久保田・定久 (代議員)  
盛岡日赤 菊地克雄・多田泰孔・渋谷アイ子  
石巻日赤 山田昌人  
水戸日赤 堀江直樹・藤田良一  
足利日赤 松村勝・田中実・将田うめ・落合タメ  
大田原日赤 川島亮介・渡辺桂子  
前橋日赤 真岡順子  
中央日赤 原公之・大丸一彦  
浜松日赤 加藤勝・伊藤理夫・伊藤

藤殿・藤井克治・増井正子・横本由美子  
名一日赤 山田正・村岸保夫・宮原義彦・飯塚保夫・三輪昭満・西脇百合子・河内てる  
名二日赤 服部昭一・山中和安  
山田日赤 小崎寿美男・川喜多満

筑前山田 永富俊男  
唐津日赤 牛草正司・渡辺康喜  
長崎原爆 鶴田孝之・岩永節生・甲斐善夫・小林隆子  
八戸日赤 石橋恭藏・工藤三夫・竹洞恵子  
岩手支部 吉田孝  
愛知支部 鈴木愛随  
福岡支部 宝蔵寺福見・下川健

この外単組オブザーバー及び招待者として、三原日赤より、児玉・杉岡の両氏が出席され、新年度一大躍進を期待される日赤新労第五回大会の幕が賑やかに切つておとされた。

議長団にはベテラン村岸(名)一、義則氏と、新加盟八戸日赤の竹洞恵子さんの兩名を選出。議事運営委員長に山田氏(名)一、選挙管理委員長に久保田氏(盛岡日赤)宣言文起草委員長に加藤勝氏(浜松)、書記に夏井本都書記を選んだ。次いで吉原執行委員長は概ね次のような挨拶は述べた。

「昨年度は、主目標である六・四%は、満足とはいかなかったが、組合員諸氏の熱烈なる応援により、昨年より一ヶ月短縮、一歩前進をみた。日赤新労は日を追って着実なる進展をみせ、今や、その組織も四千人を突破した。わが新労の路線は漸次日赤内部に浸透しつつあり、新年度は労働運動の完全制覇をめざし、更に躍進すべき年である。われ／＼日赤職員

其の幸福を得る途は日赤新労を除いては他にない。各位は自信と覚悟を新たにして一層奮起された。

続いて次のような来賓挨拶に、本年度新加盟単組代表者の祝辞並びに挨拶があつた。なお三原日赤組からは金一封が寄贈され、村岸議長から丁寧なる謝辞があつた。

三原日赤児玉氏挨拶  
「日増しに隆盛に向う日赤新労に先ずお祝の言葉を述べさせていただきます。本日は、大会にお招きにあつかり感謝に堪えません。内部事情のため、加盟が延びておりますが、近い将来において新労傘下に入れていただく心算でありますので、今后共よろしくお願ひいたします。」

大田原日赤組川島亮介氏  
「昨年六月加盟後は、新労路線に沿つて活発な活動を続けておるので宜しくお願ひします。」

大津日赤は、目下極めて困難な事態に直面しているが、われ／＼は、これに屈することなく勇敢に前進しつゝある。宜しく援助を望む。」

八戸日赤組石橋恭藏氏  
「破壊的労働運動に対処し、又医師不足の苦境にあつて必死の努力を続けている。絶大な援助を乞う。」

祝辞、挨拶が終つて、宮城県支部新労並びに大田原日赤組からの祝電が披露され、議事に入る。

#### 〔一般経過報告〕

前川書記長から、昭和四十年新労の歩みを詳細に報告された。

#### 〔組織部報告〕

川出組織部長から概ね次の項にわけて報告があつた。

#### ○オルグ及びその他

#### ○学習会

#### 〔婦人部報告〕

佐藤婦人部長より、昭和四十年度における、婦人部代表者会議の歩みを報告された。

#### 〔会計報告〕

北村会計委員から四十年決算をプリントにより説明。二、三の質問があった後承認された。

【会計監査報告】

久保田、定久両会計監査から、監査報告について監査したところ、正確に記帳されている旨の報告があった。

【議案審議】

○昭和四十一年度 運動方針

- (一) 日赤労働運動完全制覇
- (二) 物価に見合う実質賃金の獲得
- (三) 組織の拡大強化
- (四) 年金制度の促進

【質疑応答】

（前川） 完全制覇は相当の決意が必要であるが、新労に於て毅然として闘うだけの覚悟はあるか。  
（川出） 新労に於ては、充分闘う覚悟は、できています。六・四〇ベアの斗争においても、その一端は、うかがえると思う。  
（小崎）

大会宣言

日赤新労は結成以来四年八カ月、組合員の一致団結と撓まざる努力により、着実なる前進を続け、本日茲に新たな同志を加え、第五回定期大会を持つに至った。  
本年は、日赤労働運動の完全制覇を目ざし、益々、団結を強固に、新たな決意と勇気をもって慎重施策を練り、目的貫徹に邁進せんとするものである。  
右宣言する。

昭和四十一年五月十日

日本赤十字新労働組合連合会  
第五回定期大会

賃金斗争の際往々にして、医療費問題等を持ち出し、財政面を逃げ打つが、これは理由にならない。何故ならば、それは厚生者に責任を転嫁することになるからである（吉原）  
吾々は老練な経営陣の手にのらぬよう、この上にも警戒せねばならない。これに対処するの要は、われわれが強くなることである。（山川）  
物価に見合う実質賃金というのは、具体的にいつてどういうことか、また、公務員並ということも手ぬるいように思う。（前川）  
実質賃金ということは、物価の問題の外に経済成長率も加味し、諸手当等も含めたものである。（堀江）  
この場合諸手当を含めるのはおかしい、賃金については、抽象的ではなく、数学的に明らかにする必要はないか。（小崎）  
公務員給与に対しては、毎年八月に人事院が勧告し、五月実施となっているが、この運動方針でいう（吉原）  
運動方針説明中の「公務員と同歩調」というのは、「人事院勧告と同歩調」と訂正する。（川喜多）  
組織の問題は、(一)の労働運動の制覇と相関連して、殆んど同じであるように思うがどうか。（山景）  
特に(四)の項目を設けなくともよいように思う。（山川）  
内部強化ということもあるので(四)の項目はあつてもよいと思う。（久保田）  
執行部案賛成。（川出）  
組織の項目は、(一)の労働運動の制覇と趣旨は同じであるが、重要問題なので、更に併列した。学習会や、婦人部会議等と相俟つて、目的を達成したい。（服部）  
学習会は先づプロックでやり、次に費用の問題も考慮して、中央でやつてはどうか。（菊地）  
組合員に対する学習は勿論必要であるが、経営者の再教育をやるより、団交等の際持ち出したらどうか。（宮原）  
学習は中央で人数等あまり制限せずによつてほしい。（菊地）  
一口に新労を理解させるようなキヤッチフレーズはないか、できればパンフレット等作つてPRされたい。（松下）  
年金問題は長い間棚ざらしの感があるが、決して退歩ではない、老後保障を考へるとき、従業員にとつてはベア以上に必要なものであるかも知れぬ。経営者は、原資一本指で話にならず、今の態では何年経つても目途は立たぬ、再検討の要があるものと思う。（西川）  
以上と同様重要である、老後保障のな

いようにしなくてはならぬので、強力で推進して貰いたい。（奥達）  
真にやる気があるかどうか、執行部に訊きたい。（松下）  
調整年金（企業、厚生、国民年金等合併）程度には持つていくよう努めた。  
以上で討論を終り、拍手及び挙手により、運動方針(一)(二)(三)案と併せて決定した。

○四十一年度夏期手当

（吉原）  
ボーナスについては、その権限が所屬長にあるということから、いつも本社はうまくこのことを利用して逃げ、一方では組合とは無関係に通達を出して居り、事実上統一交渉はあまり意味がないと思うが、少しでもよい通達を出させる意味で、統一交渉をやつてはどうか。（議長）  
先づ本年の夏期手当について各プロックの要求額を述べられたい。  
第一 未だプロック会議を持つていない。  
第二 十八割(十)一律五千円  
第三 十八割(十)一律五千円  
第四 十八割(十)一律五千円  
第五 プロック会議開かず。  
第六 十五割  
細部はきまつていないが必ずとれる線を出した。  
なお、ここで統一要求を従来どおり出すか、出さぬかについて論議が交されたが、現在ではいくらかその効果があるということで、本年も出すことに意見が一致した。但し、これによつて経営状態のよの強弱等によつて損する所と、徳する所があるので、単組交渉に力を傾倒することが強調された。  
ここで本部案が上提され、  
「十六割(十)一律五千円」と発表  
その根拠が次のとおり説かれた。  
(一) 開数  
六・四〇ベアが公務員より三ヶ月おくれであるので、  
「十六割(十)一律五千円」約二割増  
公務員の平均給与は三六、六四〇円であり、昨年一年の生計費増が、地方で七・七％、東京で一二・五％、平均一〇・一％である関係上、三、六

単組提案事項

(一) 定期大会開催時期について  
（山田日赤単組提案）  
山田日赤新労働組代表員から提案理由の説明があり、過去数回の実情を考慮し、大会開催時期三月とあるを、四月又は五月に改正するのが実情的であり、規約としてそれが適当であると述べられた。  
これに対し、年度末決算整理及び単組大会等の関係で、五月が適当ということに決定、規約第十九条第一項を次のとおり改正した。  
「大会は、毎年一回定期的に開催され、特別に支障のない限り、五月に、執行委員長がこれを招集する。」  
なお、この決定にあつては、出席代表員三分二以上の賛成により、今回に限り投票によらず、起立によつて採択が行われた。  
(二) 大津日赤新労働組に激文、激電等送致の件  
（山田日赤単組提案）  
大津日赤新労働組代表員から、大津日赤新労働組に、全日赤労働組のストをめぐる問題について説明があり、本部並びに単組はとりあえず左記宛激電を打つことが決議された。  
「滋賀県大津市長等町一」  
大津日赤新労働組宛  
(三) 労働協約第二十六条第四項改正の件  
（鳥取日赤単組提案）  
鳥取日赤新労働組代表員から、配遇者の父母に対する忌服日数が不適当な場合があるので、三日間とあるを、七日間にされたい旨の説明があつた。  
これに対し、もつとよな意見であるので、善処する旨の決定がなされた。  
(四) 職種変更に関する件  
（鳥取日赤単組提案）  
これに関し西川代表員は、単に質問程度として、例えば技能労働職の者が、職種を変つた際、一般職に変更できるかということを知りたいという趣旨であつた。  
これは現に、ある施設においてやつていっていることである。出来るものと解釈された。

役員及び会計監査の選挙

選挙管理委員会において監査された各候補者について之を発表し無記名投票を行ったところ、  
可とするもの 五十八票  
否とするもの 五十一票  
白票 二票  
の結果をもつて左のとおり、新役員並びに、会計監査が選出された。  
役員  
執行委員長 小崎 寿美男



副執行委員長 川出 富治 (名一日赤)

全 山川 茂 (岡山日赤)

書記長 吉原 三郎 (前橋日赤)

会計 北村 雄司 (愛知支部)

執行委員 定久 正夫 (鳥取日赤)

全 加藤 勝 (浜松日赤)

全 原 貴佐子 (名一日赤)

全 宝蔵寺 福見 (福岡支部)

全 久保田 慶吉 (盛岡日赤)

「会計監査」

○緊急勧告

名古屋第一日赤宮原代議員から、次の提案がなされ、過去三

カ年に亘る多大の労苦に酬うため記念品贈呈したい旨の説明があつた。

之に対し、万場一致賛成されたが、吉原氏はまだ役員である

のと、記念品を頂くような功績は何一つないという理由により之を固辞した。

議長はこれに対し、一同に諮つた結果、新執行部一任と決定した。

○大会宣言

別稿のとおり、浜松日赤横木由美子代議員によつて朗読された。

○新旧役員挨拶

新役員を代表して小崎委員長から、推されて立つたからには、信念に沿つて前進するつもりである旨の、新旧役員を

代表して前川前書記長から、今後は外野席にあつて応援したい旨の挨拶があつた。

○万才三唱

小崎執行委員長の音頭により本大会の成功と、日赤新労の前途を祝し、万才を三唱、その声は新緑の伊豆山に大きくこだました。

代表して前川前書記長から、今後は外野席にあつて応援したい旨の挨拶があつた。

○閉会
今大会は当初より、和気藪々たる中にも、緊張した空気が漲り、手際よい村岸議長巧みな運営と、山田副委員長

(大津日赤)

旧労幹部院長命 令に無条件降伏!!

五月二十日、午後五時より開始された旧労の団交は、二十一日午前一時三十分解決した。

二十一日午前九時より、婦長会を開き、新勤務について調整し、二十三日午前零時より新勤務につき、その後の問題については各婦長を通じて建設的な意見を述べる

旧労幹部にだまされた看護婦さん「移動拒否は看護婦個人の意志である」と、団交の席上云われたのを存心ですか。旧労幹部は、あなた方に対して煽動をし、ストライキに入つた感じをおこさせ、最後は、あなた方を捨てたのですよ。旧労幹部の、卑怯な行動をだまつて見のがすのか。

賃金カット、減俸処分が発展する

業務命令違反は、重大な問題です。今後処分問題がでて、一応今度の事件に対する責任の所在が、問題となつて来るでしょう。

「一時の興奮にかられて行動を裏切られ、あわれをとどめた看護婦さん、落ちる涙は梅雨のよう。」

「旧労幹部にだまされた看護婦さん」

「移動拒否は看護婦個人の意志である」と、団交の席上云われたのを存心ですか。旧労幹部は、あなた方に対して煽動をし、ストライキに入つた感じをおこさせ、最後は、あなた方を捨てたのですよ。旧労幹部の、卑怯な行動をだまつて見のがすのか。

賃金カット、減俸処分が発展する

業務命令違反は、重大な問題です。今後処分問題がでて、一応今度の事件に対する責任の所在が、問題となつて来るでしょう。

「一時の興奮にかられて行動を裏切られ、あわれをとどめた看護婦さん、落ちる涙は梅雨のよう。」

「旧労幹部にだまされた看護婦さん」

「移動拒否は看護婦個人の意志である」と、団交の席上云われたのを存心ですか。旧労幹部は、あなた方に対して煽動をし、ストライキに入つた感じをおこさせ、最後は、あなた方を捨てたのですよ。旧労幹部の、卑怯な行動をだまつて見のがすのか。

賃金カット、減俸処分が発展する

業務命令違反は、重大な問題です。今後処分問題がでて、一応今度の事件に対する責任の所在が、問題となつて来るでしょう。

達成のため、全日赤討伐に全努力を結集し、病院の民主化と新労の発展を祈る」

「全日赤追い出し、新労頑張れ」

「日頃のご健闘ご苦労さま、全日赤アカ粉砕のため地道な活動を期待します」

「頑張れ、やり抜け、吾等がついてる」

「正しい組合運動を通じて、全日赤の暴力を粉砕し、勝利に向つて邁進されるよう祈る」

「労組の圧力に負けず、民主的組合の実力を発揮し、前進されんことを祈る」

「新労の興隆の一戦にあり、徹底的に叩き潰せ」

「しめせ新労の敢闘精神」

以上のように、大津日赤新労激闘の音が、全国の日赤病院の間に頽き起つた。極左組合の繁栄するところには、必ず病院経営の行き詰りがくるといふことが、今日程はつきりしたことはなかつた。

極左組合全日赤打倒の声は満ちあふれた。この怒りの気持は、直ちに右激電となつてハッキリと現われている。

吾々もこれを機会に、一層奮起して頑張らましよう。

全国同志の皆さん、激電ありがとうございました。

(大津日赤新労一同)

「看護婦さん、落ちる涙は梅雨のよう。」

「旧労幹部にだまされた看護婦さん」

「移動拒否は看護婦個人の意志である」と、団交の席上云われたのを存心ですか。旧労幹部は、あなた方に対して煽動をし、ストライキに入つた感じをおこさせ、最後は、あなた方を捨てたのですよ。旧労幹部の、卑怯な行動をだまつて見のがすのか。

賃金カット、減俸処分が発展する

業務命令違反は、重大な問題です。今後処分問題がでて、一応今度の事件に対する責任の所在が、問題となつて来るでしょう。

「一時の興奮にかられて行動を裏切られ、あわれをとどめた看護婦さん、落ちる涙は梅雨のよう。」

「旧労幹部にだまされた看護婦さん」

「移動拒否は看護婦個人の意志である」と、団交の席上云われたのを存心ですか。旧労幹部は、あなた方に対して煽動をし、ストライキに入つた感じをおこさせ、最後は、あなた方を捨てたのですよ。旧労幹部の、卑怯な行動をだまつて見のがすのか。

地方便利

今年度大会で役員に異動のあつた単組をお知らせいたします。

岡山赤十字病院 従業員組合

組合長 山川 茂

副組合長 青山 圭一

書記長 徳田 久子

副書記長 小橋 千枝

執行委員 森 孝昭

同 徳永 文昭

同 谷山 雅夫

同 大森 恒夫

同 守本 美里

同 池上 和男

同 生駒 美恵

同 山崎 圭一

同 青山 圭一

同 徳永 文昭

同 谷山 雅夫

同 大森 恒夫

同 守本 美里

執行委員 前川 公之

同 原 正一

同 竹内 久雄

同 工藤 良平

同 若林 千代治

同 小林 吉蔵

同 佐生 猪之助

同 荒井 長光

同 加藤 勝

同 林 信正

同 井 克治

同 井 正子

同 坂田 和恵

同 伊藤 理夫

同 川 孝功

同 林 孝子

同 加藤 一郎

同 高田 清

組合長 鶴田 孝之

副組合長 岩永 節生

書記長 甲斐 善夫

同 吉田 裕

同 白井 弘光

同 武田 千枝

同 小林 陸子

同 堤 千枝子

同 田原 志衣子

同 加藤 勝

同 林 信正

同 井 克治

同 坂田 和恵

同 伊藤 理夫

同 川 孝功

同 林 孝子

同 加藤 一郎

同 高田 清

執行委員長 奥窪 完

副委員長 三上 敏夫

書記長 工藤 明子

同 大崎 知子

同 片岡 留子

同 自井 留子

同 近藤 眞吉

同 長崎 眞吉

同 前出 礼子

同 市田 正尚

同 村瀬 雅子

同 大村 祥子

同 加藤 勝

同 林 信正

同 井 克治

同 坂田 和恵

同 伊藤 理夫

同 川 孝功



プロフィール

定久正夫執行委員

山陰の小都市、日本一を誇る大砂丘を持つこと鳥取市の官公庁街の真中に、吾等の鳥取赤十字病院がある。

この鳥取日赤の放射線科部にあつて、X線にさらされながら技術課長という重責を持ち、てきぱきと多忙な業務をエネルギーにさばっているのが吾等のオヤジさん鳥取日赤職員定久正夫氏なのである。

昭和三十七年二月十日組合結成と同時に初代委員長に推され、爾来今日までその要職にあつて、機関車の原動力となつて二百余名の組合員を適切にけん引し、正しい組合路線を力強く引張り続けて来ている強者なのである。

内剛外柔、これが氏の本当の姿であつて、あらゆる面には非を極めて、自らを制し後進を指導し上司に意見を具申する。



(書記長 山景)

# 中国第三回の核実験を行う!!

去る五月九日中国は、第三回目の核実験を行なった。

しかるにどうしたのか、アメリカ・ソ連のときのように轟々たる非難の声をあげていない。

マスコミは何をしてるか、原潜入港であれ程騒ぐ革新党員、労組等一片の抗議も行わないのは一体どうしたのか、アメリカであろうと、ソ連であろうと、中国であるうと、原潜を叩くことには変わりはない筈だ。

中国の原潜には死の灰はないというのか?

世界で只一つの被爆国日本、身をもつてにがい体験をした、吾々日本民族は、もつと真実に考えなくてはならぬ問題ではないでしようか。近頃の傾向はどうかおかし、何か遠慮してほんとうのこと云えないようなところははないか思想が古いとか、退嬰的であるとか云われるのをおそれ、新奇をてらわなくては時代おくれのような錯覚に陥っているように思われてならぬ。特に労働者にあつては、人間的な正邪を後まわしにして、良きにつけ、悪しきにつけ、唯事に左翼的な発言をすれば、それが現代の文化的人間と錯覚している

これは非常に由々しき問題であるう、もつと自分の心に飛せらうとなく、本当の心の底を發表出来ないものだろうか。

戦後の日本人すべて、物事に對して、勇氣と決断を失つて居る結果でなくて何であらう。(吉原)



## 今年度

### 第一回拡大中央委員会(八月二十一日)

### 婦人部代表者会議(八月二十日)

### 水戸市大洗海岸大洗荘に決定

### 日赤新労保養所契約

#### 契約内容

日赤新労は、今回熱海八丁園ホテルと、宿泊に關し、下記のとおり契約をとりかわしましたので、お知らせします。

熱海八丁園は伊豆山眺望絶佳の地に立し、近代設備を誇る一流ホテルであります。今回特に日赤新労保養所として破格の廉価をもつて特約したものであります。

日赤新労の組合員は勿論、家族その他関係者等広範囲に利用頂けることになっておりますので、組合会議、集會、家族同伴の宿泊等あらゆる方面に活用されたい。

一、平日 基本料金一、五〇〇円  
二、食付(税サ)ビス料込  
三、土・日・祭 基本料金一、八〇〇円  
(二食付)税サ・ビス料込  
四、申込方法 最寄の営業所に連絡すること。但し、近くに営業所のない所は直接熱海本館に申込むこと。  
五、申込取消の場合 違約金として基本料金の半を払うこと。

#### 附記

営業所	所在地	電話
東京	中央区銀座西7-2	(571)-8601 (代)
名古屋	名古屋市中區区 高見町6の2	(761)-7553 7541
浜松	浜松市相生町288	(2)-1959
仙台	仙台市宮町118	(23)-4865
本館	熱海市 伊豆山八丁畑261	(81)-7171 (代)



日赤新労保養所 八丁園ホテル

### 『後藤さん御苦労様でした』

昭和三十八年五月、私が委員長になると同時に「書記局の充実を」ということで、若い後藤さんが新労書記局に入つてこられました。

以来満々三年間、日赤中央病院と兼務で、夏は扇風機(最近中古品を買った)も無く、冬は小さなコンロ一つしかないむさくるしい事務所で、今日まで長い間新労のために働いてこられました。

然し此の度、御結婚ということになり、書記局をおやめになることになりました。

御老体夏非氏を真の父親の如く

したい、田中氏を助け、前書記長の前川氏の指導よろしきを得て、何時も書記局に紅一点として、明るい清潔なムードを作つてこられました。

私が同交その他書記局へ顔を出すと、彼女の机の一番下の引き出しを開けると、きれいに洗濯したタオルが二枚、きちんとたたんでおいてあります。(私は外から部屋に入る時、ムシタオルで顔をふくくせがある)夏の暑い時これが

何より私にとつて有がたいサービスになりました。

彼女は、表面活潑な近代的都会の女性ではありませんが、この様なキメの細かい心の暖かい方でした。書記局一同にとつて本当に惜しい人にお別れしますが、これも御本人のお祝いは仕方ありません。

私達一同、心から今後の功績に謝し、彼女のこれからの御多幸を祈らずにはおられません。

(吉原)



### プロフィール

#### 山川副執行委員長

岡山に組合が出来て七年、組合結成時は副組合長を一年半、その後、組合長を務め現在に致つて居ります。

右も左も、組合たるは何かも知らなかつた我々をここまで引上げ、ふわふわした基礎を硬いものに仕上げ、現在の組合に成長させた事實は、彼の努力を抜きにしてはとうてい考えられません。

しかし彼の努力に、組合員はあまりにも頼り切つてしまひ、何の不安も無く過してまいりました。彼の抜けた後の穴の大きさを考えその穴を埋める適当な人と思う時我々は非常にずかしくなります。

今大会において、本部に抜擢された時、彼のために喜ぶより先に岡山単組を今後どの様に運営するかと困惑を感じました。

しかし我々も、彼一人に頼り切ると言う弱い考えを捨てるときとも思われ、本部で十分に腕を振るうの出来る様、及ばすながら精一杯の努力をする積りです。

くどくどと彼の事を書くより、今後の活動を注意して見て下されば良くおわかりになると思ひます。写真をお覧の通り、彼は非常にやせて居ります。

これも組合員が彼に頼り切つて、さんざん長い間、肉を喰いち切つてまいりましたので、多少とも体力的には減退しているかも知れません。

しかし、勇氣、フアイト、敏智は尽きる事無く、今を盛りとわき出て居ります。又喰いち切り続けるとは言え、多少は残つて居ります。

皆様には残り物の様に誠に申し訳けないのですが、どうぞ召し上つて下さい。

肉は骨に近い程美味とか、骨までしやぶつて下さつても、それでも足りなかつたら骨はスーブのだしになさつても結構です。

彼の本当の味を十分に味わひ、新労の榮養として下されば、本部に差し出した我々としても望外の喜びとする所です。

岡山単組 森

